

## 板橋川橋梁



発注者 長野県

形式 5径間連続ワーレントラス橋(合理化トラス橋)

橋長 412.0m (支間長 : 72.8m+3@88.0m+72.8m) (当社施工は 1/2)

有効幅員 7.25m(車道)+2.00m(歩道)

鋼材重量 1537t(当社施工分)

架設工法 トラベラクレーン片持ち架設工法(ベント併用)

完工 平成14年3月

特徴 合理化トラス橋として、下記の部材について省略、簡略化を実施した。

・床版スパンを大きく取れる鋼・コンクリート合成床版(MESLAB:写真下段左)を採用することにより、縦桁を省略した。また、横桁も縦桁反力を受けないためコンパクト化できた。

・対傾構、横構(ともに斜材をクロスする構造)を斜材1本にし、部材数を1/2に簡略化(写真下段右)。